

—刊新最—

マス・タード
オブ・アーツ 谷川義男著

羊の歩み

四六版クロース上製
紙數約六百頁
定價金參圓八拾錢

送料貳拾四錢

著者は人も知る我國論壇に於て獨自の地歩を占むる人、題して『羊の歩み』と云ふ、本書收むる所、學術・宗教・教育・社會事業に關するの論文あり、信仰・感想・紀行あり、いづれも著者の高邁なる識見と尊き體驗より迸り出でたるもの、議論のための議論、様々の主義主張に聊か食傷の感ある今日、本書論するところ、其の片言隻句と雖も苟も空疎なる考へ方を許さない眞摯なる著者の肺肝よりの滲みであり、至純なる體驗的產物ならざるはない。就中宗教篇・社會事業篇及び信仰・感想篇の如きは著者の最も得意の擅場であり、また紀行篇は獨・佛・英・米等海外に足跡遍き著者がその齎すところの數十葉の寫真と共に繙くもの宛ら著者と共に遊ぶの感あり、他いづれの篇と雖も再讀三讀、津々として盡きざる滋味と自ら共鳴を禁じ得ざるものがある、敢て一本を薦む。

現代斯界の最高權威者執筆

內容見本

申込次第
無代進呈

現代佛教



(行發回一月毎)
一月六ヶ年
一圓九同
一圓八拾
(料送他)

錢拾五圓壹

費會月

圓

同

圓

同

京東市赤坂區
青町六丁目

◆集員會缺補◆
本講座は現代の佛教に親みある者のために、綜合的智識を與へその全般の思想内容を統一的に知らしめんとするものである。講師は斯界の泰斗にして説く所は高遠精到、叙述は頗る明快平易、その完備せる内容に至りては大學の講座を誌上に移せりと言ふべく、佛教研究者は勿論、苟も佛教を知り其真精神を究めんとする一般の人々にも、普く推薦し、本講座に依られん事を切望する所以である。

好期逸する勿れ!! 今直ぐ申込まれよ
締切前と雖も既刊分速時送本す。

申込締切十二月二十日

師講科目及講座代現

題題宗宗倫印佛佛佛佛佛佛	佛教概論	智山大學教授
教教理度教教教教教教	佛教概論	駒澤大學教授
未未學學	佛教經典	大正大學教授
教教哲哲史史文藝教經心論倫	論理	大谷大學教授
定定育育論論學學藝術學學	論理	龍谷大學教授
文文學學	論理	立正大學教授
學學	論理	大谷大學教授
博博士士	文學	前宗大教授
博士士	文學	東大助教
博士士	文學	駒澤大學教授
博士士	文學	立正大學教授
高井谷宇馬宇小山逸羽友木野々	文學	大谷大學教授
橋上本野場井野邊見溪松村村島沼野藤神	文學	大谷大學教授
順哲次次圓文伯玄習梅了圓泰直文智正即覺太	文學	大谷大學教授
郎郎富空翁壽妙學榮諦諦賢郎倉善順應昇	文學	大谷大學教授

京東座口替振
番九三〇〇五

甲子社書房

北川智聖譯著

危く發賣禁止をまぬがる

最 新 刊



賣切れ近し!! 至急御注文あれ!!

本書一巻に盛られたる内容は、人間情慾の大争鬭、赤裸々なる性の活描寫である。比丘、尼丘尼の情事、禁慾に堪へ得ずして犯せる罪、失戀、煩悶の極あらゆる不倫、淫行を敢へてせる破戒行為に就き、一々その動機より進んで経過、結末に到るまでの顛末を精細に叙述し最後に是に對する佛陀の禁戒を述べて居る。これを縦断的に見れば男女情慾の深刻にして驚嘆すべき暴露でありこれを横斷的に見れば熱帶の豊熟せる自然が生んだ灼熱の一大情史である。其筋の命令により二九九頁より三〇二頁まで削除す。不惡御諒恕を希ふと共に切に御愛讀を祈る。

◆次目なる主◆

序偈……四波羅夷……男女の淫行……殺人比丘……自瀆……肉身の相摩……猥談……肉の讃美……男女の媒合……
提婆の大逆……提婆の處分……破和合僧……幫間比丘……密通の疑……男女の對座……三十捨法……蓮華色比丘
尼……人工懷姪……純羊毛の寝具……孽色の制……阿陀律さ淫女……猥濶の袈裟……駈落ちの道伴れ……瓶沙王の
浴池……末利婦人……比丘尼戒……比丘尼の媾曳……闡陀の妹……比丘尼の渡河……美人局……比丘尼三月經三處
毛……不淨洗滌……欲心熾盛……夫婦比丘尼……同性との接近……裸體暴露……人妻の寝所……懷姪比
丘尼……淫女と具戒……戀に狂ふ女……尼の化粧……尼と裝身具……兩性比丘尼……犯淫者の處分……性的變化……
人肉供養（其仙數十項）

四六判三八六頁

極美上製函入

定價貳圓八拾錢

送 料 十 錢

印 刷 の 鮮 明 と

價 格 の 低 廉 は

他 の 追 従 を 許 さ ず

技 の 優 秀 と 術 の 洗 練 は

共 に 我 社 の 誇 な り

諸 印 刷・出 版

民 文 社

京都市上姫小路千本

電 話 西 隣 一 九 三 番